

## 細木 病院

### 高知県内No.1の実績をもつ 小児言語聴覚療法をご存じですか？ ～ことばの相談おまかせください～

主に発達障害の子どもたちを対象としております。当院には、小児科医師が5名おり、さまざまな相談に応じています。また、200名以上の患者さんが定期的に通院されており、高知県の医療機関の中では多く、訓練頻度も高くなっています。STをはじめスタッフは、あらゆるお子さんに対応できるように、新しい知見を取り入れ、学会発表等の研鑽にも励んでいます。

#### ♥ 細木病院での 小児言語聴覚療法

言語聴覚士 (Speech-Language-Hearing Therapist、略称ST) はリハビリテーション専門職のひとつです。言語聴覚療法の対象となる主な障害には、「ことばの障害 (失語症や言語発達遅滞など)」「きこえの障害 (聴覚障害など)」「声や発音の障害 (音声障害や構音障害)」「食べる機能の障害 (摂食・嚥下障害)」があります。これらの障害は、生まれながらの先天性と、病気や外傷による後天性のものがあり、小児から高齢者まで幅広く現れます。STは、何らかの原因によってコミュニケーションや食事に困りごとが生じた際に、客観的な評価をもとに相談、助言、指導を行います。細木病院リハビリテーション課言語療法室には、現在、15名のSTが在籍しており、そのうち3名が小児科専属で言語聴覚療法を行っています。



絵画語彙発達検査の様子

発達相談を目的に当院小児科を受診される患者さんの相談内容はさまざまです。例えば、「健診で言葉の遅れを指摘された」、「落ち着きがない」、「視線があいにくい」等です。そのようなお子さんに対しては、まず、各種検査により、それぞれの能力が、同じ年齢の子どもさんの平均に比べてどうかや、能力間の偏りはないか等を評価します。継続した対応が必要な場合には、ことばの発達を促す訓練、発音の練習、読み書き訓練等をお子さん本人と行います。また、親御さんに対しては、悩みごとをお聞きし、関わり方や遊び方のアドバイス、適切な情報提供を行っています。さらに、当院の小児科医師や作業療法士、臨床心理士等との連携はもちろんのこと、保育園、幼



小児言語聴覚療法に携わっているスタッフ

稚園、小中学校等の教育機関や通所施設等との連携を大切にしており、見学希望にも対応しています。障害特性に対する正しい理解を持ち、適切に対応することにより、未来ある子どもたちが、その子らしく、のびのびと生活していける環境づくりの糸口になると思い取り組んでいます。ことばの発達について心配事がある方は、細木病院小児科までお気軽にご相談ください。☎0888-8222・7211 (リハビリテーション課 言語療法室係長 言語聴覚士 楠瀬さやか)



時 事  
エッセー

# 幕末最後の仇討ち



仁生会理事長  
細木 秀美

**今**年は大政奉還 150 年になるそうだ。

先日、高知に関する歴史の研究では高名な平尾道雄の書いた『土佐・武道と仇討ち』を読んだ。彼は、細木病院の浜聡元名誉副院長の親戚で、昭和 50 年に細木病院で逝去されている。

細木病院の新館の北側には、『孝子廣井盤之助邸跡』と書かれた小さな石碑が立っている。ベテラン職員の皆さんはよくご存じだと思うが…。

広井磐之助は、幕末に『境橋の仇討ち』として有名な日本最後の仇討ちを果たした土佐の武士である。磐之助の父、大六は、釣りが飯よりも大好きで、その日も一日中舟釣りをして、帰ったところで、悪酔いした酒癖のとても悪い、棚橋三郎という武士に「舟に乗せろ」とからまれ、断ったところ、刀で切りつけられて舟から転落して溺死した。棚橋は藩外追放となったが、喧嘩両成敗で、広井家もお家断絶になってしまった。父が死んだ時、磐之助は元服はしていたが、わずか 17 歳の

若者だった。父の仇を討つために、四国から関西方面を探し回ったが、お金がなくなり困っていたところを、坂本龍馬のおかげで勝海舟の海軍操練所に世話になることができた。磐之助の本心を聞いた勝海舟の尽力で、紀州徳川家と連携して仇を見つけた。文久 3 (1863) 年、勝海舟の家来が見守る中、公認の仇討ちを果たしたが、磐之助は相手にも刀を渡し、対等の条件で父の仇を討って本懐を遂げた。しかし、その後、脚気が原因で 27 歳の若さでこの世を去ったといわれている。

磐之助は、旧小高坂村、現在の高知市大膳町のグループホームのびのび西町のある場所で暮らしていた武士であった。江戸時代の武士は、切腹と仇討ちが一番の名誉なことだったので、どんな境遇に落ちても、本懐を遂げる必要があったらしいが、今の世では考えられない。そう思って石碑を眺めると、150 年余りの時代の流れをつくづく感じる。



「のびのび西町」入口横に立っている石碑

細木病院

## 日本糖尿病学会中国四国地方会 第 54 回総会で症例発表

今年の 11 月 11 日、12 日に高知市で日本糖尿病学会中国四国地方会第 54 回総会が開催されました。この学会は、日本糖尿病学会中国四国支部における年次学術総会で、糖尿病診療に携わるさまざまな職種の方が参加しています。高知での開催は実に 16 年ぶりとのことでした。

今回、私は、「統合失調症の経過中に糖尿病性ケトアシドーシスを発症した 1 例」と題して症例報告を発表しました。意識低下により当院に救急搬送された症例です。意識低下の患者さんを診察するときには、血糖値を意識することを再認識しました。

学会 1 日目終了後、懇親会がありました。高知県内の特産物を使用した料理がたくさんありまし

た。かつおのたたき、窪川ポークの炒め物が印象に残りました。日本酒は高知県産のほぼすでの酒造会社のものでありました。15 社前後の日本酒がありました。たくさんの種類にびっくりしました。会場では、よさこい踊りの演舞やかつおのたたき、薫焼き実演が行われました。楽しい時間を過ごしました。また、会場には、細木病院の前院長、橋本浩三先生もいらつしやっております。お元気な様子でした。

学会 2 日目には、総合診療科部長・糖尿病センター長の中村寿宏先生が「感染性心内膜炎を発症した高齢者糖尿病患者 3 例での考察」、外来の片岡典代副看護師長が「災害時の備えと病状伝達力について」型糖尿病患者へのアンケート結果よ」と題して発表されました。多くの参加者があり、盛況でした。

(内科副部長 丸山 博)

料りがたくさんありまし



細木病院

## 第47回日本看護学会 —慢性期看護— 学術集会で発表

11月10日、11日の両日、鳥取県米子市で第47回日本看護学会—慢性期看護—学術集会が開催され、当院から、外来の香川直子看護師と片岡が参加しました。今回は、前回の学術集会で発表した「治療中断を経験した糖尿病病者に対して治療継続のために外来でできる看護支援—中期男性患者に焦点をあてて—」の第2報として、「治療中断を経験した糖尿病病者に対する継続のた

めに求める外来支援—中期男性患者に焦点をあてて—」の第2報として、「治療中断を経験した糖尿病病者に対する継続のた

めに求める外来支援—中期男性患者に焦点をあてて—」の第2報として、「治療中断を経験した糖尿病病者に対する継続のた

めに求める外来支援—中期男性患者に焦点をあてて—」の第2報として、「治療中断を経験した糖尿病病者に対する継続のた

めに求める外来支援—中期男性患者に焦点をあてて—」の第2報として、「治療中断を経験した糖尿病病者に対する継続のた



片岡典代副看護師長（左）と香川直子看護師

て—（第2報）」と題してポスター発表をしました。

今年の学術集会のメインテーマは、「輝く未来につなぐ看護の力」疾病や障がいとともに「私らしく生きる」を支えることでした。2025年には団塊の世代全員が75歳を迎え、医療需要が急増すると予測されています。世の中が「病院から在宅へ」と流れている中

で、「退院支援」や「認知症ケア」を含む慢性期看護の在り方について、私たちが看護職が患者さん

を、その人らしく生きることを支えることができるように支えるためにはどうすればよいか、何ができるのかを考える貴重な学びの場、交流の場となりました。

（外来副看護師長 片岡典代）



再現ビデオの上映



参加者と一緒に笑顔体操

細木病院

## 手作り接遇ハンドブックと 再現ビデオを活用して接遇研修会開催

接遇向上チームでは、信頼され愛される、働きやすい病院づくりのために、「接遇向上」は極めて大切なことだと考え、これまで活動に取り組みしてきました。そして、日常業務の「気づき」に少しでも役立ててもらおうと、昨年11月に職員を対象に、6回に分けて接遇研修会を開催しました。

講師は、接遇向上スタッフの片岡典代外来副看護師です。職員が役者として出演した再現ビデオでの名演技に、時折笑いが起こる、ほっこりした場面もありました。

研修は、昨年、チームで作り上げた「接遇ハンドブック」に沿って行われました。まず、職員へのアンケート結果をもとにまとめた「気をつけた言葉や態度」、「ホスピタリティ溢れる言葉や態度」の実例について、再現ビデオを見ながら紹介しました。職員が役者として出演した再現ビデオでの名演技に、時折笑いが起こる、ほっこりした場面もありました。

人の第一印象は、最初の5〜6秒で決まると言われており、それを決定づける要因として、表情としぐさがあります。今回は、参加者と一緒に笑顔体操や姿勢チェックも行いました。これらのトレーニングを日常に取り入れやすいような一日の過ごし方も紹介しました。

研修後のアンケートでは、「再現ビデオにハッとさせられた」、「笑顔での挨拶が大切」などの意見や、「当院ではまだまだ接遇向上が必要」との意見もありました。今後は、これらを参考に、活動の内容を再検討し、少しでも当院の接遇向上に貢献できるように努めていきたいと思えます。

（薬剤師 市古真貴子）

（薬剤師 市古真貴子）

（薬剤師 市古真貴子）

細木病院

国立保健医療科学院 地域医療臨床研修専攻科  
平成 28 年度研修報告  
研修医 森本伶美



今回は、国立保健医療科学院(埼玉県和光市)の専門課程Ⅲ地域医療臨床研修専攻科に参加しましたので報告させていただきます。この専攻科は、全国の2年目研修医を対象として、幅広い公衆衛生の知識と技術を身につけることを目的とした研修プログラムです。

昨年の10月1日から11月30日まで、全国の5病院(細木病院、東京大学医学部附属病院、東京医科歯科大学附属病院、聖路加国際病院、関門医療センター)から15人の研修医が参加して研修を行いました。計15テーマの院内での講義、演習、セミナーのほか、中央省庁(厚生労働省、防衛省)、地方自治体(千葉県内保



国立保健医療科学院での修了式

健所、千葉県庁)、関係施設(新三郷浄水場)、6つの関係研究機関(国立感染症研究所、国立国際医療研究センター、国立ハンセン病研究センター、国立医薬品食品衛

◆患者さんに寄り添った医療を志して

私が参加を希望した理由は、保健、医療、介護、福祉に関して幅広い知識を得たいと思ったからです。私は中学2年生まで高知県に住んでおり、将来は地域医療に携わりたいと思い医師を志しました。また、勉強のため、東京へ転校後、さまざまな人との出会いの中で、脳神経内科という分野に興味を持ち、将来は患者さんに寄り添った幅広い医療を提供できる神経内科医になりたいと思うようになりました。さらに、私が東京女子医科大学6年生の時に、高知県に住む父ががんのため数か月で亡くなってからは、その人らしい最期を一緒に考えることができる医療者になりたいと思いました。これらのことから、臨床で医療を経験していくことはもちろん、医療制度・システム等についての知識も学び、多くの

協力し合える仲間を持ち、人脈を広げ、それらを生きた力にしていかなければいけないと思い、今回の研修に参加させていただきました。

◆国内研修

研修が始まって直ぐに驚いたことは、講義、研修、ロジ資料と講義概要、学習日誌、課題提出・評価、スケジュールなど、すべてが遠隔研修システムで共有できるようになっていて、地域包括ケアシステム、エイズ対策、地域保健とICT(Information and Communication Technology、情報通信技術)、保健医療福祉分野における人工知能の活用等を学びました。保健医療福祉分野では、情報処理全体を考慮する態勢が、現段階では十分に整備されておらず、高



厚生労働省研修

知県でもICT



ジュネーブのWHO本部にて



フィリピン大学研修



フィリピンのサン・ラザロ国立感染症病院

を使った医療、介護の情報共有が重要となってくると思いました。

特に印象深かった厚生労働省の行政実務体験では、老健局老人保健課と高齢者支援課認知症・虐待防止対策推進室に配属していただきました。高齢化に伴う医療、介護を取り巻く問題を乗り越えていくため、高齢者が住み慣れた地域で医療や介護を受けられるように包括的に体制を整備していく地域包括ケアシステム

の研修では、研究結果が

の推進は、海外からも注目を集めていました。また、来年度の診療報酬と介護報酬の同時改定に向けての実務や、もともと興味があった認知症についての施策や研究、世界データを学ぶ中で、医療政策と臨床現場はつながったものであり、医療者としてどちらで働くとしても両方知っておくことの重要性を実感しました。



グローバルなレベルで

の公衆衛生行政を学ぶため、スイスのジュネーブにあるWHO本部で研修しました。特に、国際疾病分類ICDの作成など

国際基準の設定や情報の収集公開について学べたことがとても興味深かったです。Ageing(高齢化)と健康の意見交換では、やはり日本の介護保険や地域包括ケアシステムについての質問があり、世界が注目していることを知りました。また、WHOに勤務する本研修

卒業生との懇親会もあって貴重な体験となりました。フィリピン大学では、感染症対策行政を学びました。寄生虫学等熱帯病・感染症を中心とした講義のほか感染症研究所等を

見学しました。

海外研修で他国との医療の違いや制度比較を行うことで、日本の医療について改めて考える機会となりました。また、それぞれの国の文化を変え、どこに行ったらとして、その医療現場を見て診療ニーズを模索すること、さまざまな方との密な関係を築き、プロの視点を持っていくことの大切さを実感しました。

細木病院で研修させていただきました。ご、今回の研修で得たこと、細木病院や高知県の研修で学んだことを忘れずに、これからの医療と地域と共に自分自身も前進していきたいと思

います。  
今回このような貴重な経験をさせていただき、多方面から支えてくださった細木病院の皆様、心より感謝申し上げます。



細木病院

防災研修会で BCP(事業継続計画)を学ぶ

東日本大震災から、まもなく6年が経とうとしています。マグニチュード9の地震と大津波による死者・行方不明者数は1万人を超え、原発事故で未だに避難生活を強いられている方も多くいます。必ず来ると言われている南海トラフ地震については、最悪のケースを想定すると、日本全体における被害は、東日本大震災の32倍と言われている、高知県の死者・行方不明者数は、約42,000人と想定されています。災害時には、医療機関はリソースが不足する中で、通常よりも多くの業務をしなければなりません。平時にできるだけの対策をしておく必要があります。高知県の地震対策でも、医療機関はBCP(事業継続計画)による医療行為の継続を求められています。

昨年11月に、細木病院で第2回防災研修会を開催し、防災士でもある都司博直事務部副部長が「高知県医療機関災害対策指針の概要一を、同じく井上加奈子訪問看護師が「BCPとは…」について講義を行い、11名の職員が学習しました。



BCPについて講義中の防災士、井上加奈子訪問看護師

今年度は新たに、言語療法室の成瀬信夫さん、グループホームハッピー万々の今橋孝之さんの2名が防災士になり、当院の防災士のメンバーは11名になっています。今後は、大規模災害時の病院のBCP策定にも取り組んでいき、安心して生活できる地域づくりに貢献していきたいと思えます。

(在宅部長/防災士 廣井三紀)

細木病院

チーム力でたすきをつなぎ、リレーマラソン完走!



11月27日、第3回 HiSix42・195 kmリレーマラソンin高知春野総合運動公園が開催され、細木病院からは昨年引き続き、薬剤室を中心としたチームとリハビリテーション課を中心としたチーム、そして、われら「細木昭和45年会チーム(昭和45年4月から46年3月生まれの愉快な仲間たち)」が新たに加わり、全周42・195kmを、それぞれの思いを込めた、たすきをつなぎながら力走しました。

当日の天候は雨。朝から断続的に降り続けたため、合羽を着ての走行となりました。スタートは運動公園内の陸上競技場。コースは運動公園内の1周2kmで設定されていますが、その中には2つの坂道が組み込まれていて、2つ目の登り坂は距離が長く極度の疲労に見舞われます。今にも止まってしまうのではないかと思う足を、ただひたすら前に運ぶことだけに集中し、折り返しからの下り坂では、呼吸を整えながら一気に駆け下りていきます。コース終盤は再び陸上競技場に戻り、次のランナーにたすきを託しますが、ここが一番体力的に苦しい時間。そんな場面で精神的支えと

なるのが、仲間の心強い応援です。そしてこのリレーマラソンには時間制限が設けられており、競技開始から4時間以内にゴールしないと正式な完走と認められません。後は時間との闘いとなりました。「ノリ」で始まったリレーマラソンへの挑戦。参加することに主眼を置いていたはずなのに、なんとしかも完走したい。そんな思いでたすきをつなぎ、笑顔でゴールテープを切ることができました。

こうしてマラソンに参加し完走できたのも、一人ひとりの頑張りや思いやり、寒中懸命に応援してくれたチーム力があってこそだと感じました。年齢に関係なく、これから色んなことに挑戦していきたいと思えます。

(新3病棟看護師 澤 恵理)



細木ユニティ病院

音楽療法コンサートのご案内

岡山県倉敷市出身。大学は法学部に進むが、独学でピアノを始め熱中するうちに趣味では収まらなくなり、いつしか音楽の世界に飛び込む。これまで、葉加瀬太郎、石川綾子、一青窈、May J、河村隆一、石丸幹二等共演アーティストは多数。舞台音楽も手がけ、岸恵子や松坂慶子の朗読劇の音楽監督、テレビ・ラジオへの出演等、多彩な活動を展開中。

3月25日(土) 午後2時  
出演：阿部篤志

◆第374回◆ピアノで聴く、なつかしの映画音楽特集

細木ユニティ病院では、月2回ほど、S館6階で音楽療法コンサートを開催しています。  
無料で公開していますので、一般の方もお気軽にお越しください。  
\*駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身の健康維持・増進、生活の質の向上を促進する療法です。



所得税及び復興特別所得税の確定申告では、毎年1月1日から12月31日までの1年間に生じたす

体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等)の交付を受けている方や、65歳以上の方

(地域連携推進センター 患者サポート室主任 陶川多映)

ご存じですか!?

ソーシャルワーカーからのミニ情報

確定申告の時期が来ました。



べての所得の金額とそれに対する所得税及び復興特別所得税の額を計算し、源泉徴収された税金や予定納税で納めた税金などとの過不足が精算されます。

その中で、医療費を一定額以上支払った場合(1年間の医療費が10万円を超えた場合、または、10万円以下でも合計所得金額の5%を超えている場合)には、「医療費控除」として所得から差し引くことができま

あなたとあゆむ 積善会ニュース NO.102

有限会社 積善会

〒780-0926 高知市大膳町 5-6 細木ビル 5F  
TEL : 088-873-0146  
FAX : 088-873-0147

《売店》

細木病院 新館地下 088-822-7211(代)/内線1610  
三愛病院 1階 088-845-5291(代)/内線260

「耳の日」は、日本耳鼻咽喉科学会の提案により、難聴と言語障害をもつ方の悩みを少しでも解決したいという、社会福祉への願いから制定されました。ちなみに、3月3日は、電話の発明者、グラハム・ベルの誕生日です。

持てば聞こえる。すぐ活躍する助聴器!

こんな場面で大活躍!

医師や看護師、介護者との会話に	役所の窓口などで
カルチャー、スクールなどで	テレビ・家族の団らんに



両耳イヤホン+ネックストラップ+電池付き

13,824円(希望小売価格)

9,500円(税込)

3月末まで

タカラトミー 夢の子ネルル (ヒーリングパートナーシリーズ)



お歌をいっぱい覚えて新登場! その名も「夢の子ネルル」ちゃん  
・お歌50曲!  
・両手をにぎると歌ってくれます  
・呼び名を選べます!  
・台詞は何と!1,600種類  
・季節の言葉260種  
・おでかけ専用のお話機能付

10,240円(税込)

お取り寄せ商品になります。ご注文は、積善会事務所または、各売店までお申し付けください。(人気商品の為、日数を戴く場合があります。)

(有)積善会がお届けするインターネットショップ! Zenショップが新しくなりました。

新製品も続々登場!!  
ぜひ一度ご覧ください。



<http://store.shopping.yahoo.co.jp/zen-shop100>

# 外来担当医表



平成 29 (2017) 年 3 月 予定

じんせい平成29年2月号 (No.362)

診療科	月				火				水				木				金				土			
	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M		
総合診療科	堀	見	丸	山	中	村			堀	見			高	橋			山中・丸山 (交代)	堀	熊	見	谷			
一般内科	熊猪	谷狩	細弘	木瀬	松田 (丸山)		原		高橋 (原)	菅猪	高知大 菅猪 菅猪	菅猪	弘 (松村)	瀬	松猪	田狩	松田	弘	瀬	堀	見	担当医 (2名)		
呼吸器内科	白	神	小 (せき外来)	林	小	林			白	神			白	神			小	林	白神 (弘瀬)					
消化器内科	原				中	内 (原)			原				(高橋)	中	内	中	内							
循環器内科	高知大 瀬尾教授				山	中			山	中			松	村	高知大 松村教授 中	杉	浦	谷	岡					
糖尿病・ 内分泌内科			西	岡	丸	山	熊田 (甲状腺外来)	谷	西	岡	西	岡	西	岡	篠	原	西	山	西	山				
糖尿病センター	(熊谷)		中	村				西	岡	(西岡)	中	村	中	村	(篠原)					(熊谷)				
腎臓内科								(西岡)									高知大 寺田教授							
内視鏡センター	中	高	内	橋	中	原	内	橋	中	原	中	原	中	原	中	原	高	橋	弘	瀬	中	内		
外科	上	地	尾	崎	尾	崎	堀	見	上	地	高知大 藤枝	尾	崎	高知大 坂本 (小児外科)	上	地	高知大 花崎教授	尾	崎					
乳腺・甲状腺			尾	崎																				
おしりの外来	(堀見)							(堀見)	上	地														
緩和ケア科 (完全予約制)					安	藤	安	藤					安	藤	安	藤	安	藤	安	藤	安	藤		
脳疾患センター (脳神経外科)	栗	坂	(手術)		栗	坂			高知大 上羽教授				栗	坂			栗	坂			栗	坂		
整形外科	1診	北	岡	担当医	北	岡	杉	村	山	川	杉	村	山	川	杉	村	杉	村	杉	村	杉	村		
	2診	山	川	武	政	杉	村		杉	村	杉	村	杉	村	杉	村	杉	村	杉	村	杉	村		
小児整形外科																								
小児科	1診	中	岡	新	井	新	井	新	井	新	井	新	井	中	岡	福	井	新	井	中	岡	中	岡	
	2診	細	川	中	岡	福	井	福	井	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	細	川	福	井	細	川	細	川	細	川	中	岡
神経小児科			細	川																				
小児こころの外来 (完全予約制)					島	崎	島	崎					島	崎	島	崎	島	崎	島	崎	島	崎		
耳鼻咽喉科		橋	橋		橋	(手術)			橋	橋			橋	橋			橋	橋	橋	橋	橋	橋		
泌尿器科					蘆	田							井	上							安	藤		
放射線科		耕	崎						耕	崎			耕	崎			耕	崎						
セカンドオピニオン外来 (完全予約制)			(細木)																		(栗坂)			
健康管理センター (健康・人間ドック)		森	下		森	下			森	下	森下・弘瀬		森	下	森下・弘瀬		森	下	森	下				
乳がん		尾	崎		上	地							上	地										
子宮がん					濱	脇																		

〒780-8535  
高知市大膳町37  
☎822-7211(代)

予約電話  
873-3806  
ただし、小児科は  
822-7211

【健康管理センター】  
予約電話  
822-7264

( )のドクターは兼務です。

**細木ユニティ病院**

★初診の方は予約制です。  
(8:30以降に外来まで、お電話でご予約ください。)

〒780-8535高知市西町100  
☎802-3366(代)

**三愛病院**

★小児科の受付は、  
月・水・木・金は午後  
5時30分までです。  
(火曜日は午後5時  
で受付終了)

〒781-8136  
高知市一宮西町1-7-25  
☎845-5291(代)

**日高クリニック**

〒781-2153  
高岡郡日高村本郷ノ前7  
☎0889-24-7785(代)



仁生会のホームページへ  
<http://jinsei-kai.c.ooco.jp/>



仁生会は、国の次世代育成支援一般事業主認定と  
高知県次世代育成支援企業の認証を受けています。